2026 年 11 月 16 日

報道関係者各位

ローカル AI で、取材素材の文字起こしから編集の下準備まで――
メディアナビ、NHK テクノロジーズと共同開発中の
AI ツールを Inter BEE 2026 で先行展示

動画素材の下ごしらえツール「melmy Cut」と、生の映像に AI が顔ぼかしをかける「AI ライブぼかし」（いずれも参考出品）。全国の放送局 400 室以上に導入済みの「AVCLabs Video Blur AI」最新版もあわせて展示



株式会社メディアナビ（東京、牧野朗子社長）は、株式会社 NHK テクノロジーズと共同で開発を進めている、ローカル環境で動作する AI ツールを、2026 年 11 月 18 日（水）から 20 日（金）まで幕張メッセで開催される「Inter BEE 2026」の NHK テクノロジーズブース（ホール 8、小間番号 8229）で展示します。動画素材の下ごしらえツール「melmy Cut（メルミー・カット）」と、生の映像に AI が顔ぼかしをかける「AI ライブぼかし」を参考出品します。同じく共同で開発を進めている動画ぼかしソフト「AVCLabs Video Blur AI」および編集機に渡す直前のぼかしの最終調整や DaVinci Resolve との連携などを可能にするサポートツールもご体験いただけます。

■ 背景：AI は使いたい、でも素材は外に出せない

取材映像やインタビューの音声には、出演者の顔や声、放送前の情報が含まれます。放送局や番組制作会社では、こうした素材を外部のクラウドサービスに上げられない場面があります。メディアナビは、こうした「データを外部に出さずに、手元で動く AI を使いたい」というご要望に応え、ローカル環境で動作する AI プロダクトのシリーズ「melmy（メルミー）」を進めています。その第一弾が「melmy Cut」です。

■ melmy Cut（メルミー・カット）：編集者に、いいトスを上げる。

melmy Cut は、取材やインタビューの素材をパソコンの中で文字起こしし、文字を読みながら使う発言を選んで、編集者に渡すための下ごしらえツールです。文字起こしをもとに、カット編集とテロップ作成を進められます。編集者は編集に、ディレクターは判断に専念でき、アシスタントは別のパソコンで素材を整えて渡せます。Windows・Mac の両方に対応しています。

・ローカル処理：文字起こし・話者分け・要約・校正・翻訳の AI 処理を、すべてパソコンの中で行います。素材を外部に送らず、利用者のデータを AI の学習に使うこともありません。

・放送用の素材に対応：MXF・MTS・M2TS などを、タイムコードや複数の音声トラックを保ったまま読み込めます。

・ローカル LLM で要約・テーマ抽出：話者ごと・話題ごとの要約や、「地元の食材の話」のようなテーマから、もとの発言を抽出し、そのまま DaVinci Resolve のタイムラインとして送れます。

・テロップの原稿づくり：文字起こしをテロップの一覧にし、映像に重ねて直せます。長いテロップの分け方や言い換えは AI が提案します。

・編集機・テロップシステムとの連携：選んだ発言のカットを、DaVinci Resolve のタイムラインとして直接送れます（テロップは Text+）。送り先は同じパソコンのほか、NAS などを通して別のパソコンも選べます。EDL、テロップシステム「Neo・n」（株式会社ラムダシステムズ）用のテキスト、テロップ静止画（透過 PNG）と EDL の書き出しにも対応しています。

・外部の生成 AI との連携：ChatGPT、Claude、Codex、Claude Code に対応。人名や社名などをマスクしてから文字だけを渡し、返ってきた構成案をそのまま並び替えに反映できます。

・試写しながら、声でコメント：番組などの映像を再生しながら、「ここを使おう」「12 分 30 秒のところと入れ替え」といった指示を声で録音できます。巻き戻しても映像の時刻に合わせて記録し、文字起こしします。元の映像にコメントを別トラックのテロップとして重ねて、DaVinci Resolve へ送れます。スピーカーから入った番組の音は、自動で打ち消します。

・速さ（当社実測）：1 時間の音声の文字起こしが約 1 分 35 秒（NVIDIA GeForce RTX 4080 Laptop GPU 搭載のパソコン、速度優先のモデル）。

melmy Cut の最新情報は、製品ページでご案内しています：
https://www.medianavi.co.jp/product/melmy-cut/melmy-cut.html

文字起こしの画面



テロップ編集の画面



melmy Cut の文字起こしとテロップ編集の画面イメージ

① 要約から発言を抽出
テーマに合う発言だけを絞り込み

② DaVinciへ送る
テロップ(Text+)も一緒に

③ DaVinciに届く
カットとテロップが並んだ状態



要約から発言を抽出し、テロップ付きで DaVinci Resolve に送るまでの画面イメージ

① 個人情報をマスキング
人名・社名などを仮名に

② 外部AIに渡す
文字だけを、依頼文と一緒に

③ AIの返答を反映
番号のリストを貼るだけ



個人情報をマスキングし、外部の生成 AI に渡して、返ってきた答えを反映するまでの画面イメージ

■ AVCLabs Video Blur AI：全国の放送局 400 室以上に導入済み



AVCLabs Video Blur AI のぼかしのイメージ

AVCLabs Video Blur AI は、AI が顔や物体を自動で認識し、ぼかし・モザイク・消去を行うソフトウェアです。処理はパソコンの中で行い、映像を外部のサーバーに送りません。NHK テクノロジーズと共同で放送向けの開発を進めてきたソフトで、全国の放送局の編集室など 400 室以上に導入されています（2026 年 10 月時点）。

放送業界以外でも、保育園などの防犯カメラの映像向けの提供が始まっています。学校などで行事や授業の映像を共有・公開する際の、子どもの顔や名札の保護にも活用いただけます。

Inter BEE 2026 では、最新のプログラムを先行公開します。主な新機能は次のとおりです。

・オフセットぼかし：検出した顔を基準にぼかす範囲をずらし、髪の毛を含めた頭部全体、胸元の名札、T シャツのロゴや柄、全身などをぼかせます。通常の顔ぼかしと組み合わせれば、顔と胸元を同時にぼかすこともできます。

・キーワード検出：「signboard」（看板）や「name tag」（名札）のように英語で入力して検出するだけで、該当する物体を見つけ、動画に追従してぼかします。

・このほか、インターフェースの刷新、静止画のぼかし、同じ人物の顔をまとめて表示する機能、SDI 出力への対応などが加わります。

AVCLabs Video Blur AI の製品情報は、製品ページでご案内しています：
https://www.medianavi.co.jp/product/videoblur/videoblur.html



オフセットぼかし：顔を基準に胸元をぼかし、顔ぼかしと組み合わせるまでの画面イメージ

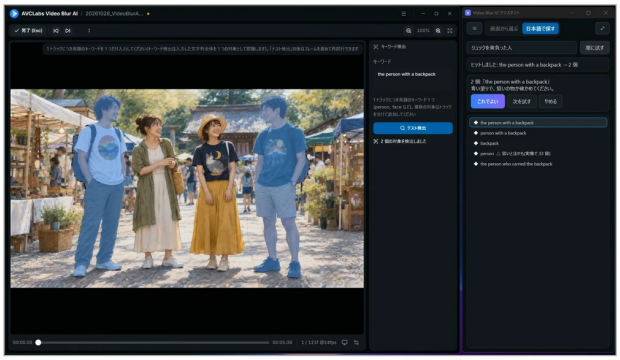


キーワードで看板を検出し、ぼかすまでの画面イメージ

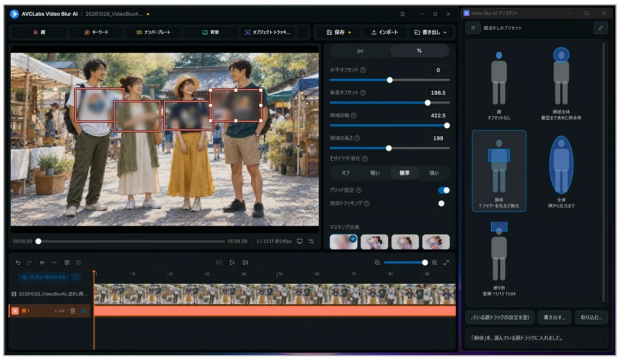
さらに、メディアナビが現在開発中のサポートツールを、Inter BEE 2026 限定で先行体験いただけます。新機能のキーワード検出をより便利にする、日本語のふだんの文章からキーワード検出に使う英語のキーワードを提案する機能や、顔ぼかしのプリセットを登録できる機能、編集機に渡す直前のぼかしの最終手直し機能など、編集作業を手助けするツ

ールです。また、このツールを使うと、DaVinci Resolve との連携もできます。

1 キーワード提案 日本語の文章から英語のキーワードを提案



2 顔ぼかしのプリセット クリックで、ぼかす範囲の設定を反映



3 マスクの手直し 誤ってぼかした所を消す・塗り足す



4 編集機に送る DaVinci Resolve のタイムラインへ



開発中のサポートツールの画面イメージ

■ AI ライブぼかし（参考出品）：AI 顔認識の技術を、生の映像へ

AI ライブぼかしは、Video Blur AI と同じ AVCLabs 社の AI 顔認識の技術をもとに、NHK テクノロジーズと共同で開発を進めている、生の映像に AI がその場で顔ぼかしをかけるソフトウェアです。汎用の Windows パソコンと市販の Blackmagic Design 社の入出力機器を組み合わせ、SDI または HDMI で入力した 1080p の映像から顔を検出してぼかし、1 秒程度の遅延で出力します（環境により異なります）。Inter BEE 2026 に向けて新たに開発したもので、商品化については現在検討中です。

当日はブースで、パソコンにつないだカメラで会場の様子を映し、その場で顔ぼかしをかけるデモンストレーションを行います。来場者の皆さまご自身がモデルとなって、AI ライブぼかしをご体験いただけます。中継やライブ配信、防犯カメラ・ライブカメラの映像の公開など、人が映り込む映像をその場で扱うさまざまな場面での活用を想定しています。



AI ライブぼかしの画面イメージ

■ 会場限定：Video Blur AI オフライン版の無料お試しライセンスをプレゼント

会期中、NHK テクノロジーズブース（ホール 8、小間番号 8229）にお越しいただいた方のうち、ご希望の方に、AVCLabs Video Blur AI オフライン版を 2027 年 1 月 31 日（日）まで無料でお試しいただけるライセンスをプレゼントします。オフライン版は、インターネットに接続しない環境向けの版で、放送局の編集室などで使われています。

■ Inter BEE 2026 出展概要・製品概要

名称	Inter BEE 2026
会期	2026 年 11 月 18 日（水）～20 日（金） 18 日・19 日 10:00～17:30／20 日 10:00～17:00
会場	幕張メッセ（千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1）
展示ブース	株式会社 NHK テクノロジーズ ブース（ホール 8 小間番号 8229）
入場	無料（全来場者登録入場制）
公式サイト	https://www.inter-bee.com/ja/

AVCLabs Video Blur AI （エーブイシーラボ ビデオブラー エーアイ）	Windows 版 型番：MV23L006-LW　JAN：4570000438500 Mac 版 型番：MV23L010-LM　JAN：4570000438517 ダウンロード版：1 ライセンス PC1 台あたり 税込 30,000 円（買い切り・永続） オフライン版：価格・構成は個別見積もり 製品情報： https://www.medianavi.co.jp/product/videoblur/videoblur.html
melmy Cut （メルミー・カット）	参考出品。価格・提供時期は未定 対応 OS：Windows・Mac 最新情報： https://www.medianavi.co.jp/product/melmy-cut/melmy-cut.html

AI ライブぼかし	参考出品。製品名・価格・提供時期は未定 詳細は今後、メディアナビのホームページにて公開予定

※ melmy Cut・AI ライブぼかし・AVCLabs Video Blur AI 最新版・Video Blur AI のサポートツールは開発中のため、仕様は予告なく変更する場合があります。

※ 記載の会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

■ AVCLabs シリーズについて

AVCLabs シリーズは、AI を使った映像・画像処理ソフトウェアを開発している海外メーカー、AVCLabs 社の製品です。今回展示する AVCLabs Video Blur AI のほか、動画のデジタルリマスター（高画質化）やモノクロ映像のカラー化の技術を持つ「AVCLabs Video Enhancer AI」、写真の高画質化や補正を行う「AVCLabs Photo Enhancer AI」「AVCLabs PhotoPro AI」などがあります。メディアナビは、日本国内で AVCLabs 製品を販売しています。

■ melmy™ シリーズについて

melmy（メルミー）シリーズは、メディアナビが開発する、ローカル環境で動作する AI プロダクトのシリーズです。今後、映像・放送業界向けをはじめ、大学の研究室、医療機関、企業などに向けたプロダクトの提供を目指しています。

■ 株式会社メディアナビについて

株式会社メディアナビは、生成 AI に特化したプロダクトをリリースし、個人向けの販売に加え、放送・映像編集の業界や、大学をはじめとする教育機関へと販路を広げています。

所在地：東京都渋谷区広尾 5-4-12 大成鋼機ビル 4F

設立：2006 年 9 月 1 日

代表者：代表取締役 牧野朗子

URL：https://www.medianavi.co.jp/

■ 本件に関するお問い合わせ

株式会社メディアナビ　広報担当：長沢（ながさわ）

E-mail：public@medianavi.co.jp　URL：https://www.medianavi.co.jp/

※ 本リリースで使用している画像は、開発中のイメージ画像です。人物などの写真には、生成 AI で作成した画像を含みます。